

取組事例 11

配偶者からの暴力の被害者に配慮した避難者名簿（福島県相馬市）

相馬市では、東日本大震災後、市内に最大 45 か所の避難所ができ、約 4,500 人が避難した。予め定められていた計画に沿って、保健福祉部が「避難所本部」となり、各避難所との連絡・調整や全体統括を担った。

各避難所では、避難者名簿が作成されたが、ある避難所では、配偶者からの暴力の被害者から、「夫に居場所を知られたくないので、避難所の名簿に名前を出さないでほしい」という要望が寄せられた。市では、その要望を受け、被害者の安全確保が最優先と考え、避難者名簿に記載しない対応を行った。